



川崎らしい

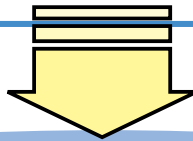
「生ごみリサイクルプラン」をつくります！



今、なぜ生ごみリサイクルが必要なのか？

川崎市内の家庭や事業所からは、毎日たくさんの生ごみが出ます。この生ごみのほとんどがごみとして収集、焼却され、最終処分場に埋め立てられています。しかし、生ごみはリサイクルすることで肥料・堆肥になる他、メタンガスを取り出してエネルギーとして活用することもできるなど、資源として役立てることができます。

生ごみをリサイクルしてできた堆肥や肥料を活用し、農産物をつくるという地域での循環を基本とし、さらに川崎の地域特性を生かした生ごみリサイクルの取組を行っていくことが必要とされています。



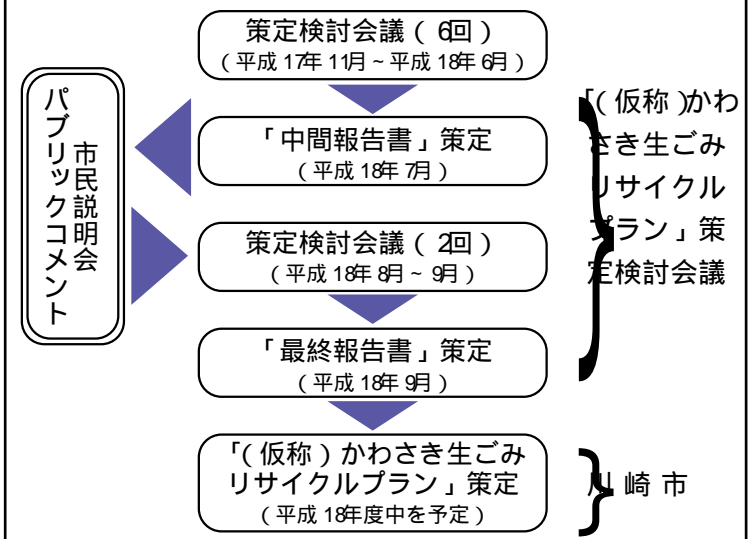
「(仮称)かわさき生ごみリサイクルプラン」策定検討会議の設置と報告書の作成



「(仮称)かわさき生ごみリサイクルプラン」策定検討会議では、平成17年11月から平成18年6月にかけて、川崎市で生ごみリサイクルに取り組んでいる市民・事業者・研究者・市が、お互いの経験と知恵を出し合って中間報告書を作成しました。

この中間報告書に市民の皆さんからのご意見をいただき、「最終報告書」を策定しました。そして、川崎市が「最終報告書」の考え方を生かして、「(仮称)かわさき生ごみリサイクルプラン」を策定することになります。

「(仮称)かわさき生ごみリサイクルプラン」策定の手順



今年度中に「かわさき生ごみリサイクルプラン」を策定します。
プランができ次第皆さんにお知らせします。
詳しくは「環境局廃棄物政策担当」へお問合せください。



地域の廃棄物減量指導員にご協力を！

廃棄物減量指導員は、町内会・自治会などの住民組織団体から推薦をいただき、川崎市長から2年間の任期で委嘱を受けた、ごみの減量とリサイクルの地域におけるボランティア・リーダーです。

主な活動内容は、①ごみ減量の普及啓発 ②リサイクル活動実践の指導

③排出方法の遵守指導 ④廃棄物行政に関する意見・情報の提供 などです。

今年4月、第7期目となる廃棄物減量指導員の方々、1,790名が新たに委嘱を受け、地域での活動をスタートしました。

みなさんの地域の廃棄物減量指導員に、ご協力をお願いします。